

2020 Asia Pacific Conference, *Panel 7*

UDL理論に基づく韓国語授業の実践： ICTを活用した遠隔指導



Shape your world

APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University

Ritsumeikan Asia Pacific University
JUNG Jonghee (jungjh@apu.ac.jp)

▶ 学びのユニバーサルデザイン (Universal Design for Learning)

UDLは、学習環境の中に含まれる学びのエキスパートを育てる上での根本的な障壁、つまり、融通が利かず「全員一律で対応させようとさせる (one-size-fits-all)」ようなカリキュラムに対処するための枠組み。教育者がさまざまなニーズに対応できるような柔軟な学習の目標、方法、教材・教具、評価の方法を提供し、学習者の個人差に対処するのに役立つ。UDLはすべての学習者の学びの伸びを助けるための概念フレームワークである (UDLガイドライン Version 2.0, 2011)。



<https://www.cast.org/>

▶UDL3原則

①提示のための多様な方法を提供すること “何を” 学ぶのか

障害を抱える人、言語や文化の異なる人が学習内容にアプローチするためには、皆それぞれに違った方法が必要になる。

②行動と表出のための多様な方法を提供すること “どのように” 学ぶのか

すべての学習者に適切な一つの行動や表出の方法は存在しない。行動と表現のための複数のオプションを提供する必要がある。

③取組のための多様な方法を提供すること “なぜ” 学ぶのか

どんな方法で学習に取り組んだりやる気を出したりできるかは、学習者によって異なる。

①提示に関する 多様な方法の提供



知覚するための
多様なオプション



言語、数式、記号のための
オプション



理解のためのオプション



学習リソースが豊富で、
知識を活用できる学習者

②行動と表出に関する 多様な方法の提供



身体動作ためのオプション



表出やコミュニケーションに
関するオプション



実行機能のための
オプション



方略的で、目的に向けて
学べる学習者

③取り組みに関する 多様な方法の提供



興味を引くための
オプション



努力やがんばりを継続させる
ためのオプション



自己調整のためのオプション



目的を持ち、
やる気のある学習者

I. 提示に関する 多様な方法の提供

1: 知覚するための多様なオプションを提供する

- 1.1 情報の表し方をカスタマイズする多様な方法を提供する
- 1.2 聴覚的に提示される情報を、代替の方法でも提供する
- 1.3 視覚的に提示される情報を、代替の方法でも提供する

2: 言語、数式、記号のためのオプションを提供する

- 2.1 語彙や記号をわかりやすく説明する
- 2.2 構文や構造をわかりやすく説明する
- 2.3 文や数式や記号の読み下し方をサポートする
- 2.4 別の言語でも理解を促す
- 2.5 様々なメディアを使って図解する

3: 理解のためのオプションを提供する

- 3.1 背景となる知識を提供または活性化させる
- 3.2 パターン、重要事項、全体像、関係を目立たせる
- 3.3 情報処理、視覚化、操作の過程をガイドする
- 3.4 学習の転移と般化を最大限にする

学習リソースが豊富で、知識を活用できる学習者

II. 行動と表出に関する 多様な方法の提供

4: 身体動作のためのオプションを提供する

- 4.1 応答様式や学習を進める方法を変える
- 4.2 教具や支援テクノロジーへのアクセスを最適にする

5: 表出やコミュニケーションに関するオプションを提供する

- 5.1 コミュニケーションに多様な手段を使う
- 5.2 制作や作文に多様なツールを使う
- 5.3 支援のレベルを段階的に調節して流暢性を伸ばす

6: 実行機能のためのオプションを提供する

- 6.1 適切な目標を設定できるようにガイドする
- 6.2 プランニングと方略開発を支援する
- 6.3 情報やリソースのマネジメントを促す
- 6.4 進捗をモニタする力を高める

方略的で、目的に向けて学べる学習者

III. 取り組みに関する 多様な方法の提供

7: 興味を引くために多様なオプションを提供する

- 7.1 個々人の選択や自主自律性を最適な状態で活用する
- 7.2 課題の自分との関連性・価値・真実味を高める
- 7.3 不安材料や気を散らすものを軽減させる

8: 努力やがんばりを継続させるためのオプションを提供する

- 8.1 目標や目的を目立たせる
- 8.2 チャレンジのレベルが最適となるよう求める
(課題の) レベルやリソースを変える
- 8.3 協働と仲間集団を育む
- 8.4 習熟を助けるフィードバックを増大させる

9: 自己調整のためのオプションを提供する

- 9.1 モチベーションを高める期待や信念を持てるよう促す
- 9.2 対処のスキルや方略を促進する
- 9.3 自己評価と内省を伸ばす

目的を持ち、やる気のある学習者

①提示に関する
多様な方法の提供

知覚するための
多様なオプション

言語、数式、
記号のためのオプション

理解のためのオプション

学習リソースが豊富で、
知識を活用できる学習者



韓国語授業：ICTを活用した遠隔指導

- ① “何を” 学ぶのかを事前に明確に示す。
- ② “何を” 学んだのかを事後に確認し合う。
- ③ 授業活動や課題に関する指示・説明は、必ず「口頭説明＋マナバ掲載」を同時に行う。

- ① 品詞を表す記号を統一し、事前に説明する。
- ② 十分な例文を提示する。
- ③ メディア教材を活用する。
- ④ 母語資料を活用する。

- ① 反転授業を取り入れる。
- ② ブリッジ活動、グループワークを強化する。
- ③ 授業や課題のパターンを分かりやすくする。

韓国語学習コンテンツを適切に活用し、自律した学習者になる。
韓国語構文を理解し、実在的な言語運用ができる。

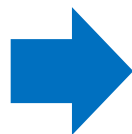
②行動と表出に関する 多様な方法の提供

身体動作のための
オプション

表出やコミュニケーション
に関するオプション

実行機能のための
オプション

方略的で、目的に向けて
学べる学習者



韓国語授業：ICTを活用した遠隔指導

- ① 発話の前に準備する時間を設ける。
- ② ペア→グループ→全体へ知の共有を拡大していく。
- ③ LMSを活用する。

- ① 「全員マイクオン」の時間を設ける。
- ② 「プライベートチャット」で質問を受け付ける。
- ③ メール、個別ZOOMによる学習に対応する。
- ④ 録音・録画による課題提出を認める。

- ① 学習の振り返りとプランニングを日常化する。
- ② 短期目標を随時確認する。
- ③ 中長期目標を設定させ、適切なサポートを行う。

韓国語学習の目標を明確にし、自分自身に合う学習コンテンツ、
勉強法を見つけて持続的に学習できる。

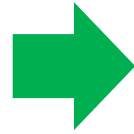
③取り組みに関する
多様な方法の提供

興味を引くための
オプション

努力やがんばりを継続
させるためのオプション

自己調整のための
オプション

目的を持ち、
やる気のある学習者



韓国語授業：ICTを活用した遠隔指導

- ① 「自言語」、「自文化」を取り入れた韓国語授業。
- ② 「APU型グローバルラーニング」の実践。
- ③ インタフェースをシンプルなものにする。

- ① 「わかる」ための課題と、「もっとできる」ための課題。
- ② 学習の仲間集団を育む（言語学習サークル）。
- ③ フィードバックを増大させる。

- ① 先輩学習者による学習モデルの提示。
- ② 自己評価シートを取り入れる。

韓国語学習の目的を再確認し、楽しく能動的に学ぶ学習者。

韓国語授業のUDL化

A YouTube video player showing a video titled "THE AUTHENTIC PANSORI" by Genesis. The video is paused at 0:41 / 4:32. The video content shows a man in a dark suit and white shirt, looking to the right, with a large, ornate fan (pansori) in the background. The text "THE AUTHENTIC PANSORI" is overlaid in large white letters, with "A GREAT BIG STORY BY GENESIS" below it. A red box highlights the title and subtitle area. The YouTube interface includes a search bar with "korea great", a Premium logo, and various control icons.

A screenshot of a Korean chat window. The text is as follows:
카메라 ON 마이크 MUTE
respon 221015189
10시 35분부터 시작합니다.
오늘 수업은...
교과서 제9과 문법 1.부터(p.81) ~
자료는...
마나바 코스콘텐츠에 있어요
①교과서, ②프린트 21 번

An orange arrow points from the text "마나바 코스콘텐츠에 있어요" to the chat window on the right.

A screenshot of a Japanese chat window. The text is as follows:
2020-11-08 (Sun)
熙 | 設定 | ログアウト
メモ一覧 English
担当教員: 鄭 鍾熙
2020
コースコンテンツ
参加者 (1)
Jonghe... (ホスト, 自分)

At the bottom, there are several icons: a green checkmark, a red X, a double left arrow, a double right arrow, and a three-dot menu.

A Windows taskbar at the bottom of the screen. From left to right, it shows:
Acrobat Reader DC
2020秋
画面を共有しています (画面共有)
共有の停止 (共有停止)
ミュート解除 (ミュート解除)
ビデオの開始 (ビデオの開始)
セキュリティ (セキュリティ)
参加者 (参加者)
新しい共有 (新しい共有)
共有の一時停 (共有の一時停)
コメントを付け (コメントを付け)
詳細 (詳細)

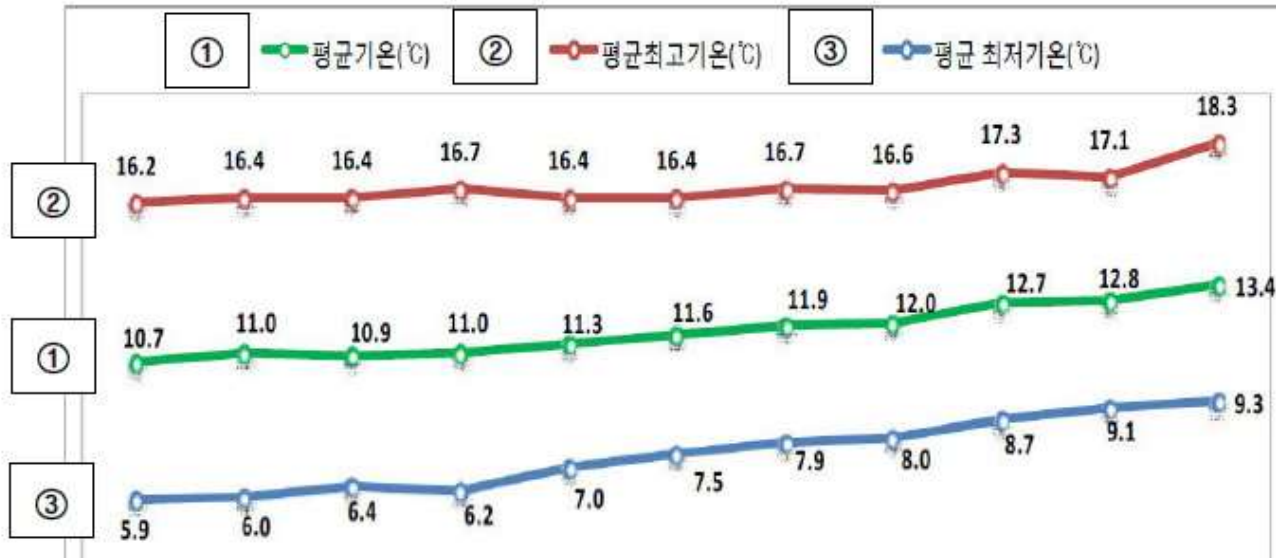
韓国語授業のUDL化

제 1 과	큰 주제	아시아태평양학	작은 주제	환경과 개발
학습 목표	그래프를 보고 말할 수 있다. 환경문제와 그 대책을 조사하고 요약할 수 있다.	문형과 문법	-지요, -군요, -네요	

통계로 보는 한국의 환경문제

■ 말하기

연대별 평균기온 변화



11월 5일 수업 노트

한국어로 그래프를 읽을 수 있어요?

선생님이 ①번 그래프를 읽겠습니다.
여러분이 ②번 그래프를 읽어보세요.
여러분이 ③번 그래프를 읽어보세요.

통계 통계 Statistics

평균 평균 Average

환경 환경 Environment

연대별 연대별 Chronical

변화하다 변화하다 Change

韓国語授業のUDL化

コンテンツ

	제1과_자료(Download and Print out)
	10월 6일 노트
	제2과_자료(Download and Print out)
	10월8일 노트
	10월 9일 노트
	제3과_자료(Download and Print out)

タイトル	アクセス
 제1과_자료(Download and Print out)	81
 10월 6일 노트	0
 제2과_자료(Download and Print out)	47
 10월8일 노트	14
 10월 9일 노트	12
 제3과_자료(Download and Print out)	22
 10월 12일 수업 노트	7
 10월 13일 노트	6
 제4과_자료(Download and Print out)	21
 10월 15일 노트	6
 10월 16일 노트	6
 제5과_자료(Download and Print out)	20

 10월 19일 수업노트	8
 제6과_자료(Download and Print out)	23
 10월 22일 수업 노트	6
 10월 23일 수업노트	6
 제7과_자료(Download and Print out)	16
 10월 26일 수업 노트	8
 10월 27일 노트	3
 제8과_자료(Download and Print out)	25
 제9과_자료(Download and Print out)	25
 11월 2일 노트	4
 11월 3일 노트	6
 제10과_자료(Download and Print out)	30
 11월 5일~6일 노트	1

韓国語授業のUDL化

◆제1과를 공부하기 전에...←

PREDICATE(用言)←		
<u>AVst</u> ←	<u>DVst</u> ←	<u>Vst</u> ←
Action Verb stem←	Description Verb stem←	Verb stem←
動作動詞の語幹←	形容動詞の語幹←	動詞(動作動詞、形容動詞)の語幹←
가-, 먹-, 하-, 외우-, 읽-←	예쁘-, 맛있-, 재미있-, 좋-←	가-, 먹-, 하-, 외우-, 읽-← 예쁘-, 맛있-, 재미있-, 좋-←

■ 액티브러닝

“여행 계획서를 쓰고 발표해 봅시다.”

- | | |
|--------------------|---|
| ▪ 어떤 여행을 선호합니까? | 유적지나 관광 명소를 둘러볼 수 있는 여행
편하게 휴식 시간을 가질 수 있는 여행
() |
| ▪ 얼마 동안 여행합니까? | 금방 다녀올 수 있는 짧은 여행
천천히 여기저기 둘러볼 수 있는 긴 여행
() |
| ▪ 예산은 어느 정도 필요합니까? | 최대한 절약해서 싸게 다녀오기
조금 비싸더라도 여유 있게 다녀오기
() |

韓国語授業のUDL化


表 1. 韓国語反転授業の流れ

事前学習	対面授業			
動画 → 問題提起	協働学習	問題解決	要約	評価 → フィードバック
30分	10分	60分	10分	10分
言語使用の観察・理解 背景知識の習得	導入	言語使用 知識の拡張	事後評価による 認知の強化	

鄭鍾熙 (2020) ICTを活用した韓国語反転授業の実践：インクルーシブ教育の観点から。韓国語教育研究10

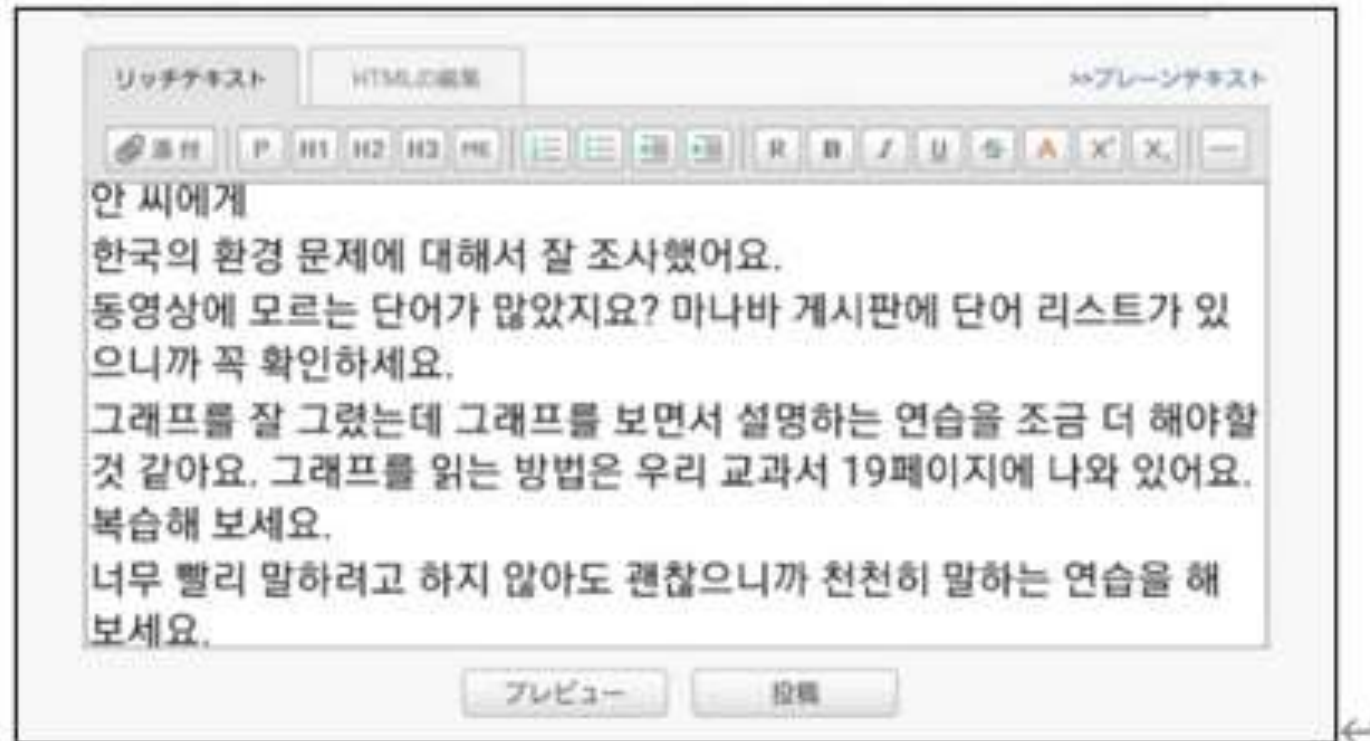
韓国語授業のUDL化

表 4. 自己評価項目

評価項目	当てはまるものに○をしてください。	コメント
事前学習	동영상을 잘 이해하고 수업에 활용했다.  そう思わない どちらとも言えない 強くそう思う (以下、評価軸の表記は省略)	
	수업 전 질문을 잘 준비해서 교실에서 수업을 들을 때 도움이 되었다.	
授業活動	교실 수업에 적극적으로 참여했다.	
	친구들이 공부해 온 것을 보거나 듣는 것이 내 공부에도 도움이 되었다.	
	수업 주제에 대한 기초적인 지식을 쌓을 수 있었다.	
	한국어 말하기, 쓰기, 읽기, 듣기 연습이 되었다.	
振り返り	사전학습과 이번 수업에서 부족했다고 생각하는 부분에 대해서 쓰고, 이를 보완하기 위해서 다음 수업에서는 어떤 방법으로 공부할 것인지 쓰세요. <hr/>	

韓国語授業のUDL化

図3. フィードバックの例←



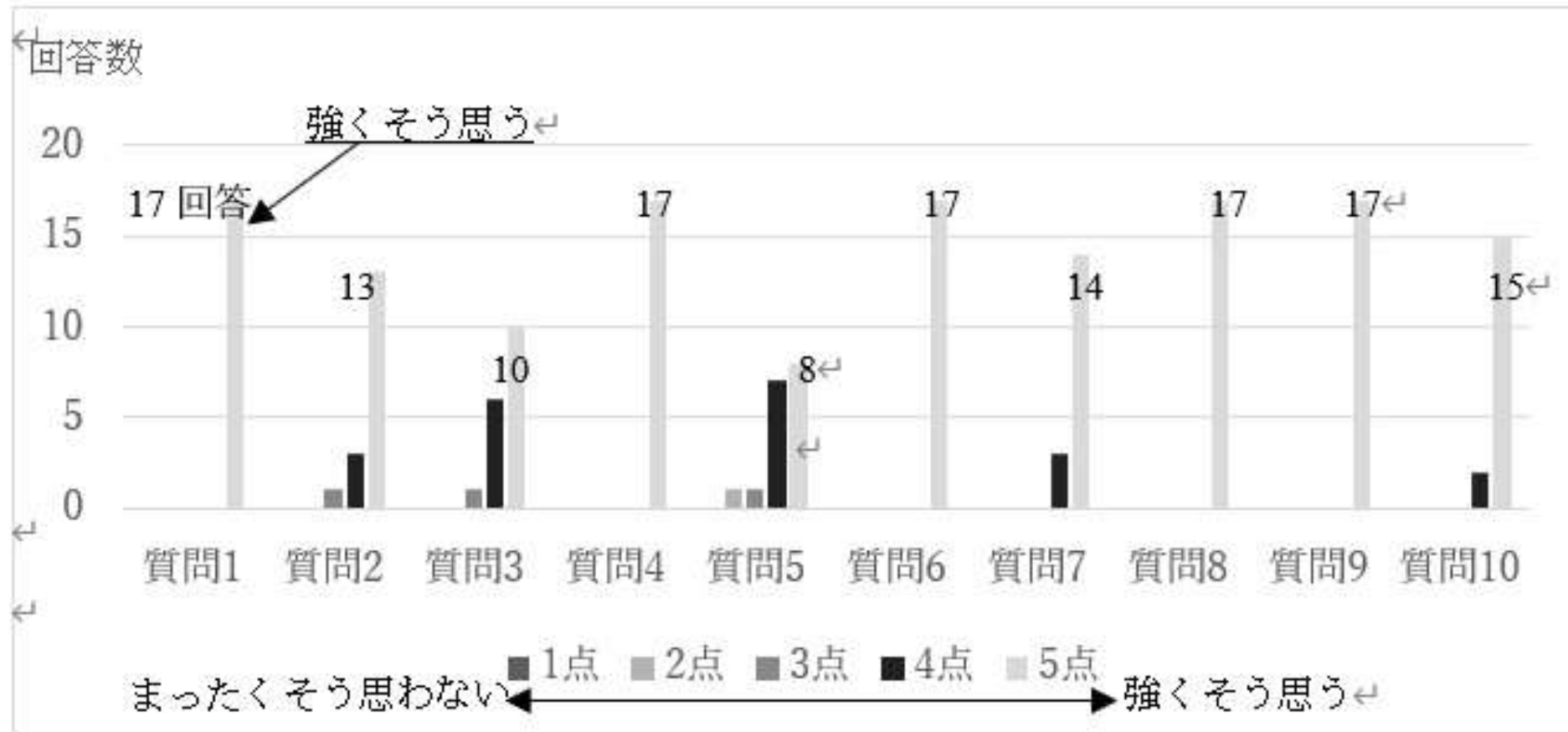
韓国語授業のUDL化

表 5. 授業満足度調査アンケートの質問項目

項目	質問
1	▶동영상을 보면서 사전학습을 한 것이 도움이 되었다고 생각합니까?
2	▶사전학습은 이해하고 수행하기 쉬웠습니까?
3	▶대면 수업 전에 충분히 사전학습을 진행했다고 생각합니까?
4	▶사전학습과 대면 수업 활동에 대한 선생님의 설명을 잘 이해했습니까?
5	▶그룹 활동을 할 때 적극적으로 발언했습니까?
6	▶그룹 활동을 통해 새로운 사실을 알게 되었다고 생각합니까?
7	▶이 수업을 통해 한국어 실력이 향상되었다고 생각합니까?
8	▶선생님, 반 친구들과 충분히 이야기할 기회가 있었습니까?
9	▶동영상 교재, 마나바, 메신저 연락 등은 알기 쉽고 편리했습니까?
10	▶앞으로도 이러한 수업을 계속 하고 싶습니까?

韓国語授業のUDL化

図4. 満足度調査結果(全学生)←



韓国語授業のUDL化

春学期達成度テストの結果				秋学期達成度テストの結果			
学生	筆記	スピーキング	総点	学生	筆記	スピーキング	総点
学生 1	88	8	96	学生 1'	88	7	95
学生 2	70	8	78	学生 2'	77	7	84
学生 3	85	8	93	学生 3'	88	10	98
学生 4	83	9	92	学生 4'	85	9	94
学生 5	69	6	75	学生 5'	75	6	81
学生 6	88	8	96	学生 6'	79	8	87
学生 7	77	8	85	学生 7'	82	9	91
学生 8	78	8	86	学生 8'	77	8	85
学生 9	89	10	99	学生 9'	81	10	91

学生 10	78	7	85	学生 10'	86	9	95
学生 11	84	10	94	学生 11'	79	9	88
学生 12	78	9	87	学生 12'	89	8	97
学生 13	88	10	98	学生 13'	80	8	88
学生 14	85	9	94	学生 14'	82	8	90
				学生 15'	86	8	94
				学生 16'	87	10	97
				学生 A	88	10	98
クラス平均点		89.86		クラス平均点		91.35	
評価割合				評価割合			
A+	A	B	C	A+	A	B	C
57.14%	28.57%	14.29%		64.7%	35.29%		

ご清聴、ありがとうございました。

ご質問など
jungjh@apu.ac.jp